

ガバナーメッセージ

10月は『地域社会の経済発展月間』及び『米山月間』

国際ロータリー第2590地区ガバナー **小倉 正**



今年度がスタートして3ヶ月が経過いたしました。当初7月は9クラブ、8月は13クラブ、9月には12クラブの合計34クラブの公式訪問を予定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が進み、神奈川県も2度の緊急事態宣言の延長が発令され訪問は中断、7月31日から9月末までの26クラブの公式訪問が中止を余儀無くされてしまいました。このままですと当初予定していた11月26日、27日の地区大会までに全てのクラブへの公式訪問を終了する事は不可能となり、日程上公式訪問の再開は年明けからという事になってしまいます。次年度の準備がスタートしてからの公式訪問は意味を無さないと考え、苦汁の決断として、通常の公式訪問に代わるガバナー事務所での各クラブの会長・幹事殿との面談(オンラインを含む)という形式での実施にご協力をいただきました。各クラブ会員の皆様にお目にかかれないのは大変残念でしたが、短時間ではありましたが、各クラブの様子を伺い、大変有意義でありました。

9月号のガバナーメッセージに記述させていただいた、本年度の地区大会につきましては、11月26日・27日にパシフィコ横浜会議センターとYouTubeのハイブリット形式により規模を縮小し、地区内会員で開催することに致しました。感染予防対策の観点から、地区内全会員での対面が叶わず大変残念ですが、今後の政府の大規模イベント等の行動制限の緩和状況も考慮に入れ、最終的な会場参加対象者数を決定させていただき、YouTubeでのライブ配信併用方式で参加いただ

きます。(9月24日付の各クラブ宛メール案内ご参照)

次にロータリーの公共イメージ向上が期待される本年度の世界ポリオデーに向けての第2750地区主催「10.24 世界ポリオデー・トレインジャックプロジェクト」に、当地区も他の3地区と共催にて参加することになりました。具体的には10月18日～24日、一都3県のJR東日本の全女性専用車の中刷り広告を「END POLIO NOW」でジャックし、「世界ポリオデー」当日に駅頭での募金活動や「Walk Rally」等のイベントを行うものです。(右頁参照)このイベントへの参加により、ロータリーは何のために、誰のために、どのような価値ある活動をしているかなど、社会の人々に正しく伝える一例を示せるのではと、準備を進めています。

今月は『米山月間』です。ロータリー米山記念奨学事業等につきましては各委員長さん方から寄稿がございりますが、前年度ガバナーエレクトとして参加した奨学生選考は本当に大変でした。米山記念奨学事業の目的は、奨学金による支援と世話クラブとの関わりを通して将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材の育成であります。米山記念奨学事業は、“どんな奨学生を採用したか”によるところが大きく、選考委員の責任の重大さを認識させられました。当年度はガバナーとしての責任もあり、身の引きしめる思いで選考に臨むと共に、どのような人材に育ってくれるか見守りたいと考えています。